

施設のデザイン2（景観）、パース図について

1. 基本的な考え方

デザインについては、地域の景観に配慮し、自然的なものや木質風のものを作成するとともに、一般的なものとの違いがわかりやすいよう、参考として一般的なごみ処理施設のイメージも併せて作成している。

2. 比較コンセプト案

表 1-2、図 1-1~図 1-3 に比較コンセプトの考え方及び配置基本案の A 案（参考案）、B 案（緑化重視案）、C 案（木質デザイン案）のイメージ図を示す。また、表 1-1 の地元意見では、B 案のような緑化を重視した案が多いほか、A 案のようなシンプルな案（色は別）、大学との連携により協議していく案などがあつた。

表 1-1 地元からのご意見（抜粋）

	地元からのご意見
1	<ul style="list-style-type: none"> ・施設デザインとしては、B 案がよい。 ・施設配置が気になっており、建物を西側に持ってくるのではなく、できるだけ東側に寄せてほしい。
2	<p>建設はしないしてほしいが、どうせ建てるならの前提での意見である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B 案、C 案は実現性やコスト考えても無理だと思うし、維持管理も大変であることから、やめた方がよい。A 案がよいと言われるとそうでもないが、まだ 3 つの中ではシンプルであるし、色を変えればよい。 ・一般的な建物に緑色はないので、色を周辺に合わせた緑色とかは違和感があるので、ダメである。デザインは、シンプルな方がよいと思う。 ・広島市の中工場のデザインは、谷口吉生氏という建築家であり、あのデザインはよいと思う。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインより配置であり、建物は東側の方がよい。搬入口は西側がよい。 ・キーワードは、「びわ湖一景」がよいのではないか。 ・外観デザインのコンセプトは、下記のような感じがよいのではないか。 <p>①景観に融合するデザイン、色調とする。</p> <p>②訪れる人々が好感を持ち、快適性を感じる外観とする。</p> <p>③できる限り緑化を行い周辺の景観との連続性と一体性を確保する。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの大学教授を紹介できることから、教授や学生と一緒に話をできないか。 <p>（大学側）大学の研究事例となることや学生の勉強となることから、大学としては前向きに考えたい。教育としてもやる価値はある。</p> <p>（個人様）デザインだけでも配慮してもらえると、我々も安心である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備基本方針の 3 にある「地域の田園風景に十分配慮した施設デザインとするとと

	もに・・・」とあるので、どうせ造るなら、よりよいと思えるものを造ってほしい。地域の誇り、地域のプラスとなるようなものを造ってほしい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・緑っぽい方がよい。(B案) ・カラフルなものもよいと思う。田中古墳や泰山寺古墳があるので、古墳柄がよいと思う。 ・地元の人にもクリーンなイメージで、景観にマッチするようなデザインがよいと思う。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・泰山寺は、冬季期間に-10℃になるときがあるので、植物は枯れることから、緑化はやめた方がよい。(B案はやめた方がよい) ・緑色や茶色など、あの場所に合う色合いがよい。C案で植物なしがよいのではないか。 ・または泰山寺は野菜がコンセプトであるので、壁に野菜の画を描くのもよいのではないか。 ・建物よりも構内周辺に公園などを整備する方がよいのではないか。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根が緑(植物)などの方がよいのではないか。 ・景観というよりも、建物自体を地下にすればよいのではないか。

3. 景観デザインのコンセプト

地元のご意見を鑑み、景観デザインのコンセプト案は下記のとおりとする。今後は、発注図書として、設計・建設受注を希望する入札参加者に対してコンセプトを提示し、それぞれの設計する建物に応じて、コンセプトに沿った景観デザインを提案してもらうこととする。

なお、コンセプトは今後、さらに周辺地域のご意見を伺いながら、検討を進めるものとする。

<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の景観と調和したデザイン、色調、素材とすること。 ・敷地外周に緑地帯を十分配置し、周辺への威圧感や圧迫感を和らげること。 ・建物外観は一体感および清潔感のあるデザインとすること。 ・施設を身近に感じることができ、親しまれる開放的な雰囲気デザインのデザインとすること。 ・メンテナンス性や耐久性を十分配慮すること。

表 1-2 イメージ図のコンセプト

コンセプト名称	A案 (通常案)	B案 (緑化重視案)	C案 (木質デザイン案)
コンセプト	一般的なごみ処理施設のイメージ（B案・C案との対比がしやすいように通常のごみ処理施設のイメージとした）	自然な雰囲気を出すために屋上や壁面などの外観を緑化したイメージ	森林をイメージして壁面に木質デザインに一部緑化を取り入れたイメージ



図 1-1 A案（通常案）

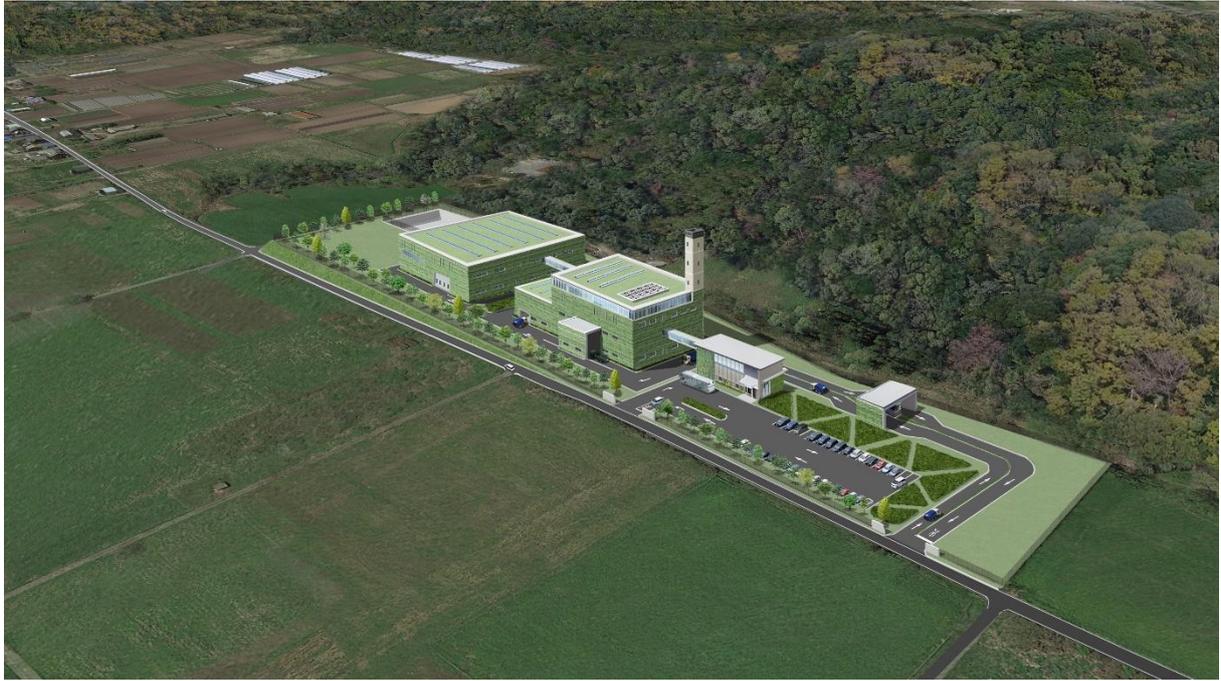


図 1-2 B案（緑化重視案）



図 1-3 C案（木質デザイン案）

4. 煙突の高さについて

煙突については、敷地内で最も高い構造物となるため、景観上の印象が強くなる。その影響について、4地点からの景観予測図を煙突の高さごと（45m、50m、59m）に作成して、その影響を確認した。

また、地表高さに応じて周辺地域のどの範囲で煙突が視認できそうかについても確認を行った（地表高さのため、建物や木々等の影響については考慮していない。）。

撮影位置図を図1-4に示す。

なお、泰山寺区老人憩いの家からは図1-5のとおり、建物が視認できないことから、泰山寺区老人憩いの家の横の道路付近からの視点とした。



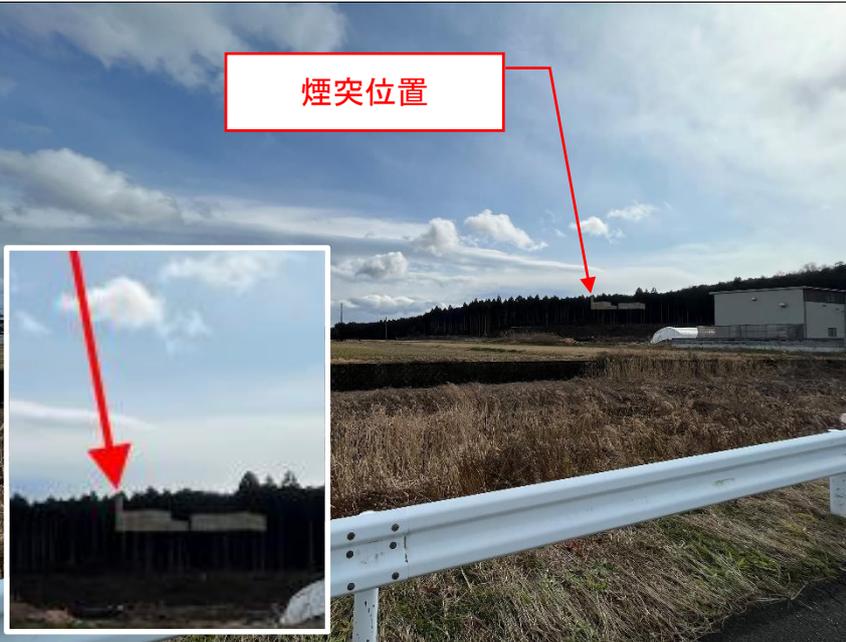
図 1-4 撮影位置図

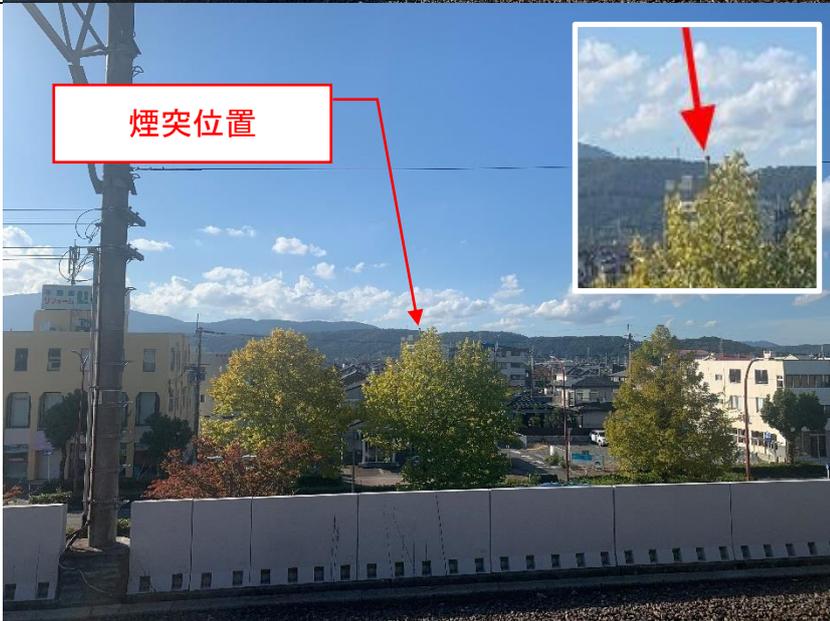


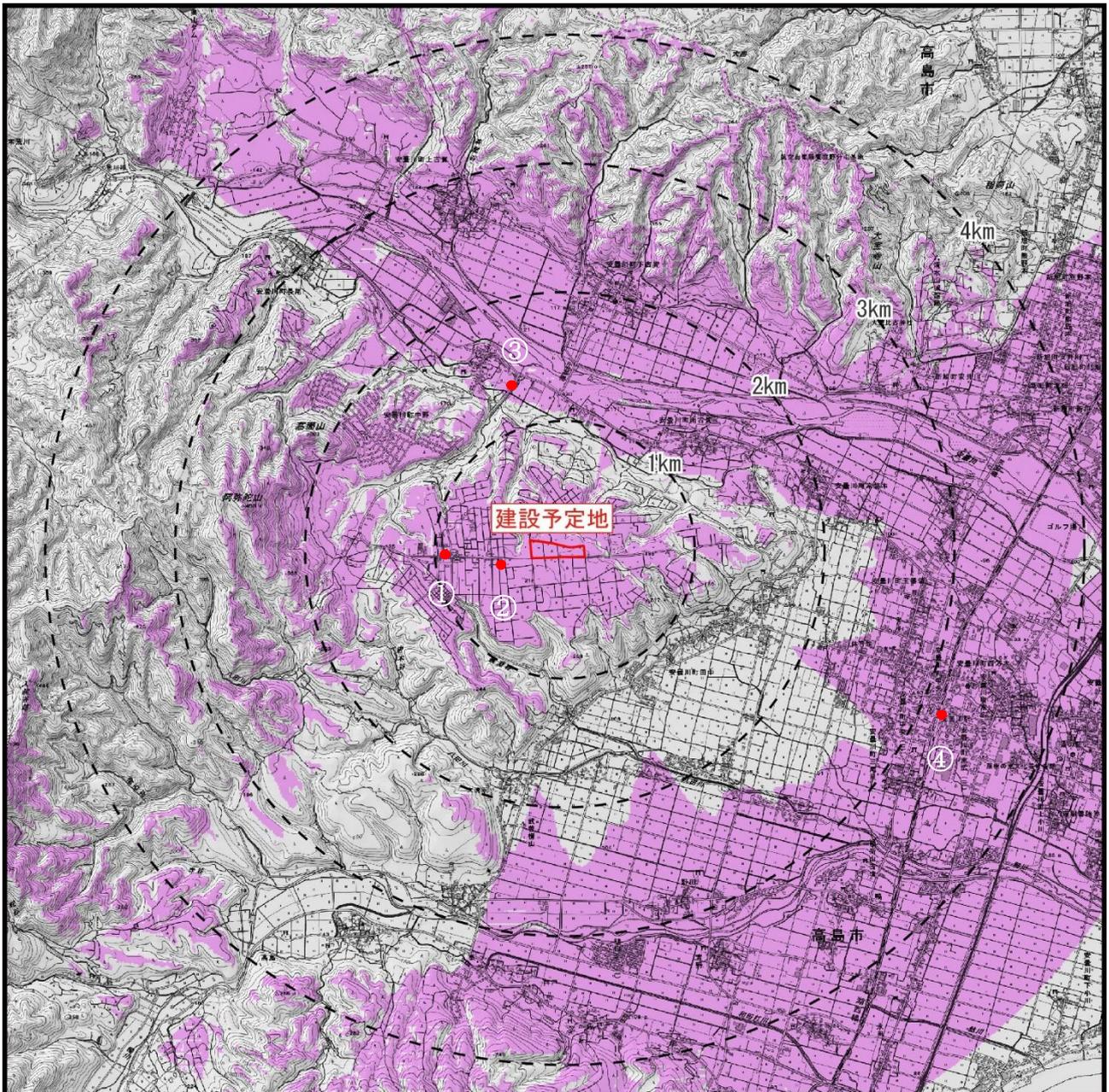
図 1-5 泰山寺区老人憩いの家からの視点

煙突高	①泰山寺区老人憩いの家の横の道路付近からの視点	状況
45m		<p>道路左側にある電柱の横に煙突が並んで見えるようになると予想される。(建物も一部見える。)</p>
50m		
59m		

煙突高	②泰山寺のソラノネ付近からの視点	状況
45m		<p>建物と併せて見えるようになると予想される。</p>
50m		
59m		

煙突高	③中野自治会近くの道路からの視点	状況
45m		<p>木々に隠れて見えないと予測される。 （建物は見えない。）</p>
50m		<p>木々にほとんど隠れているが煙突頂部が見えると予測される。（建物は見えない。）</p>
59m		<p>煙突の頂部付近が見えると予測される。 （建物は見えない。）</p>

煙突高	④安曇川駅（ホーム）からの視点	状況
45m		<p>煙突の頂部付近が見えると予測される。 （建物は見えない。）</p>
50m		<p>煙突の頂部付近が見えると予測される。 （建物は見えない。）</p>
59m		<p>煙突の上部が見えると予測される。（建物は見えない。）</p>



凡 例

- : 建設予定地
- : 可視領域

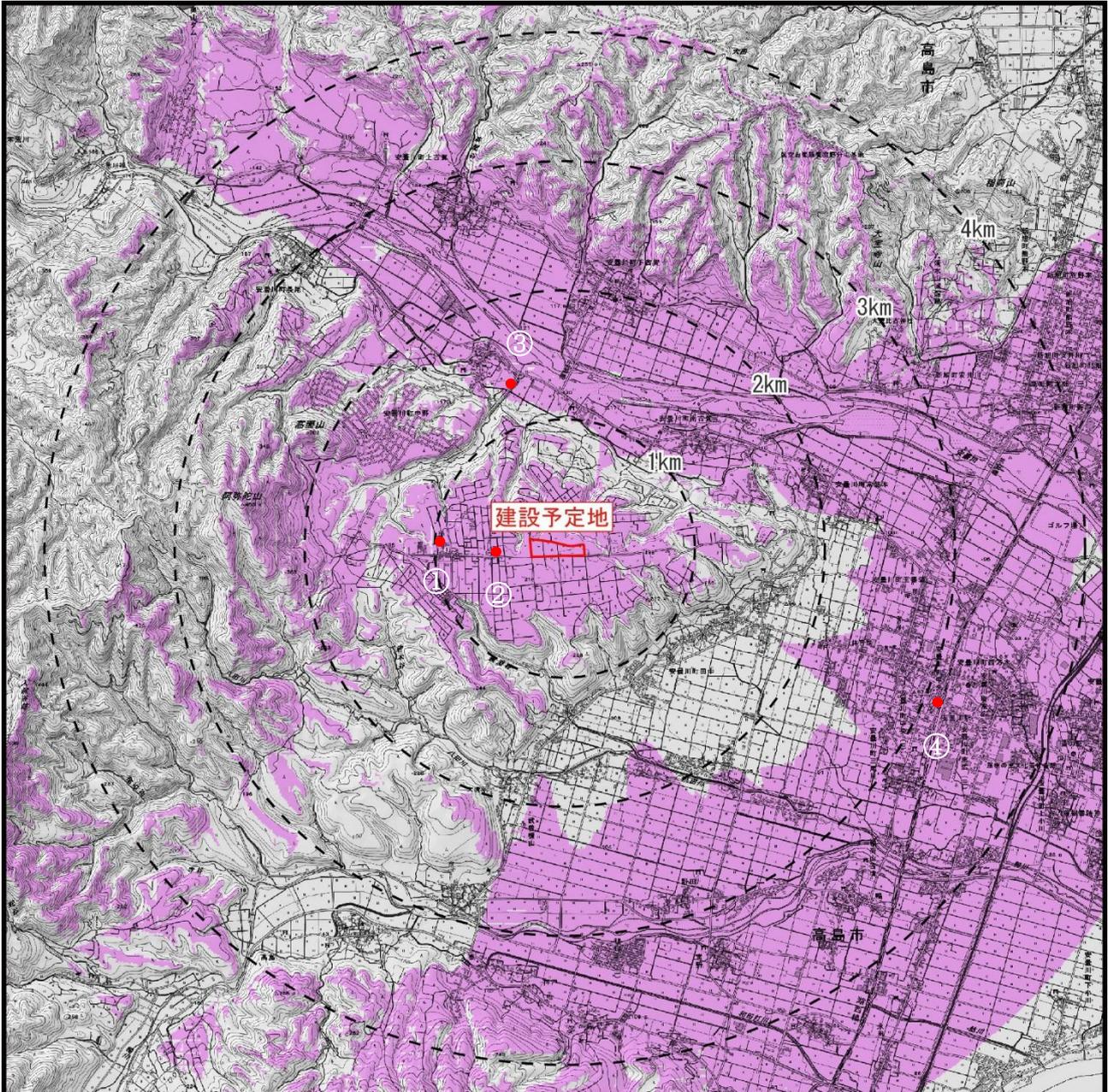
※建物や植木などの障害物の影響は反映できない。



S=1:50,000

0 500 1,000 2,000m

図 高さ45mでの可視範囲



凡例

- : 建設予定地
- : 可視領域

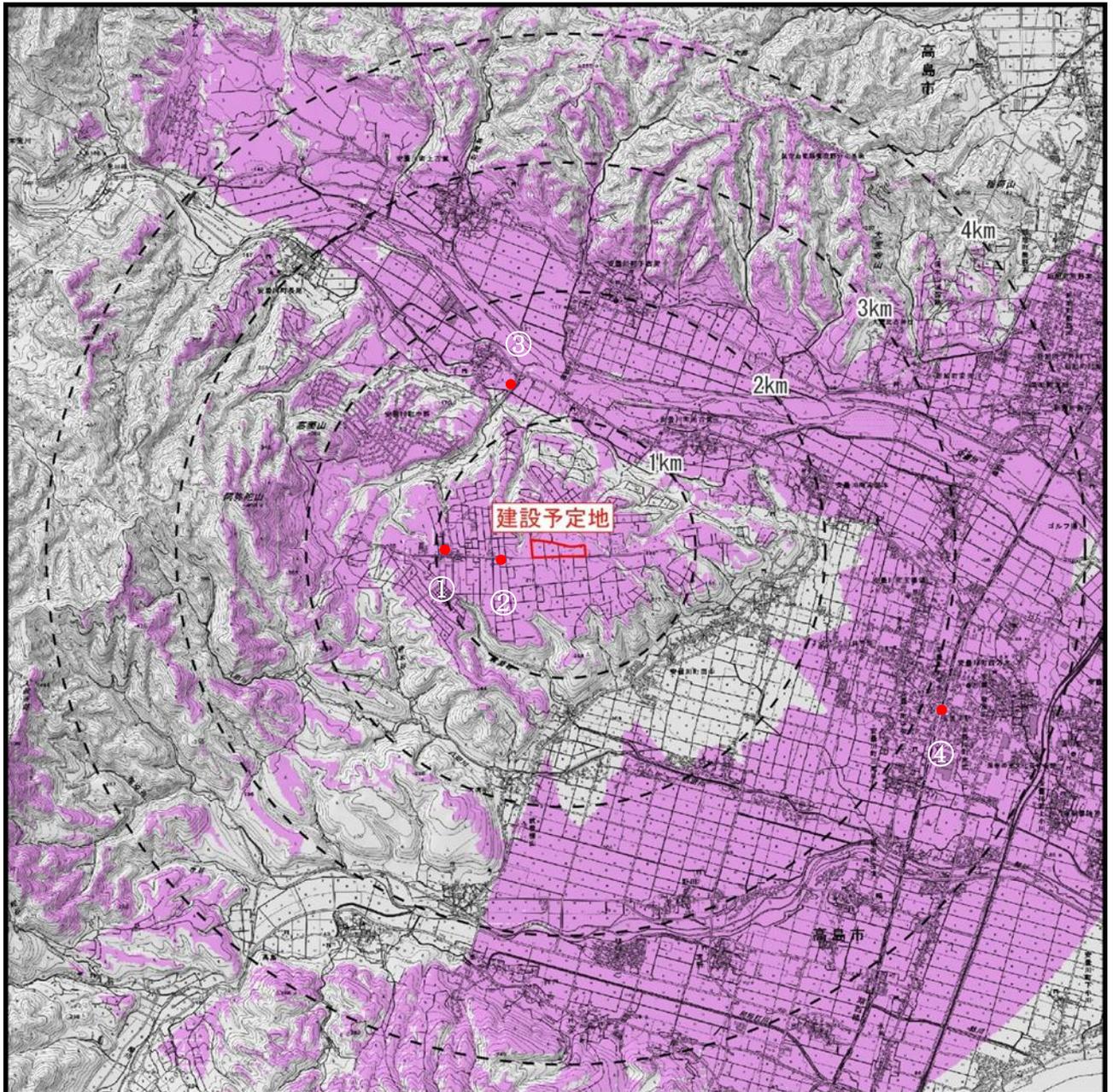
※建物や植木などの障害物の影響は反映できない。



S=1:50,000

0 500 1,000 2,000m

図 高さ50mでの可視範囲



凡 例

- : 建設予定地
- : 可視領域

※建物や植木などの障害物の影響は反映できない。

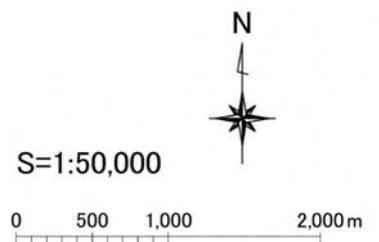
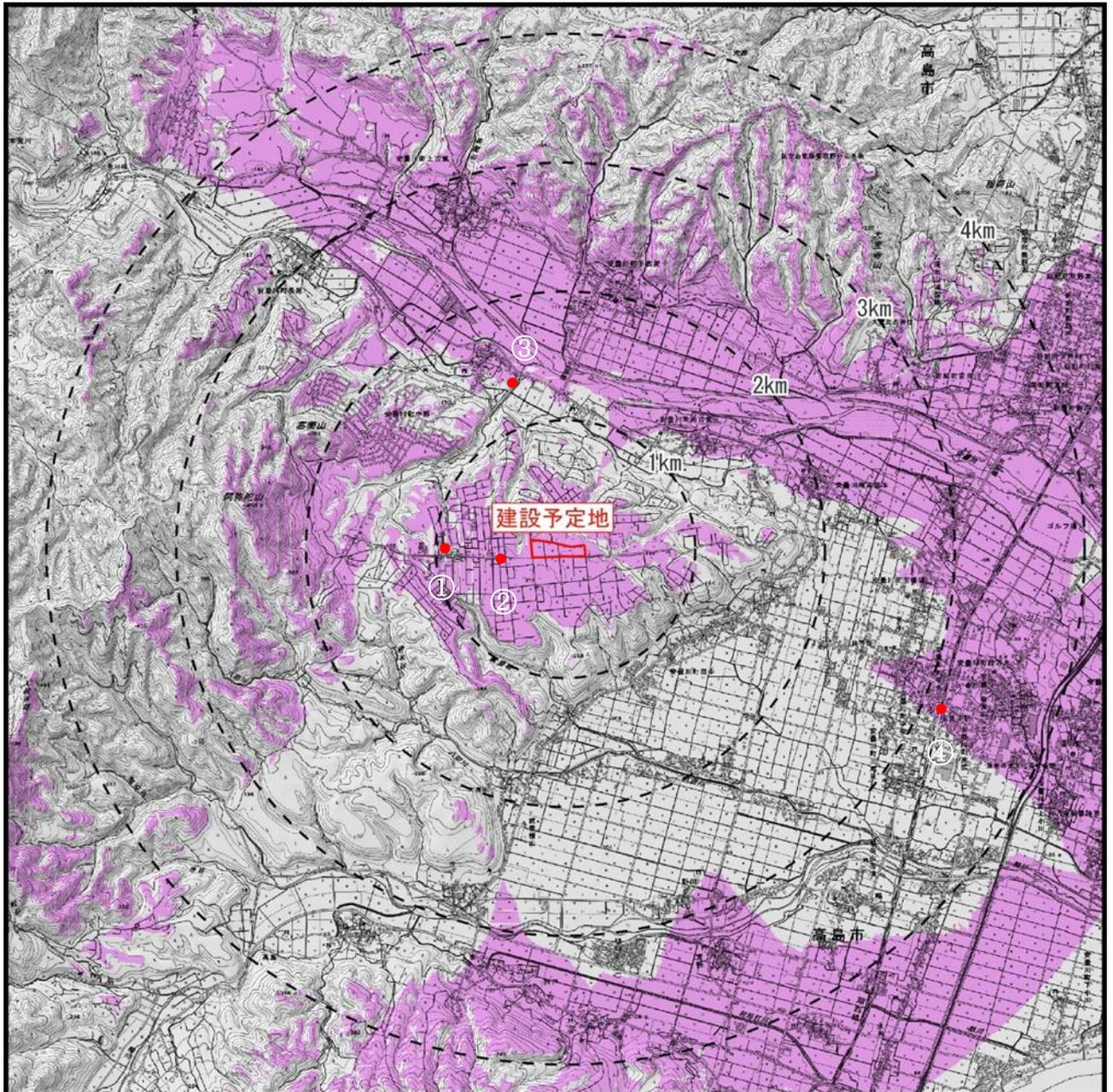


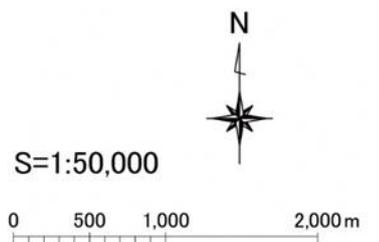
図 高さ 59m での可視範囲



凡 例

- : 建設予定地
- : 可視領域

※建物や植木などの障害物の影響は反映できない。



高さ 25m での可視範囲 (参考)

以上の予測結果、煙突の高さについて 59m の場合はいずれの地区においてもはっきり視認でき、45m まで抑制すると中野自治会からは、見えないような予測結果となった。

景観的には低ければ低いほど影響は小さくなりますが、煙突が低すぎると排ガスによる影響が大きくなることから、**煙突高は 45m を基本とする**